

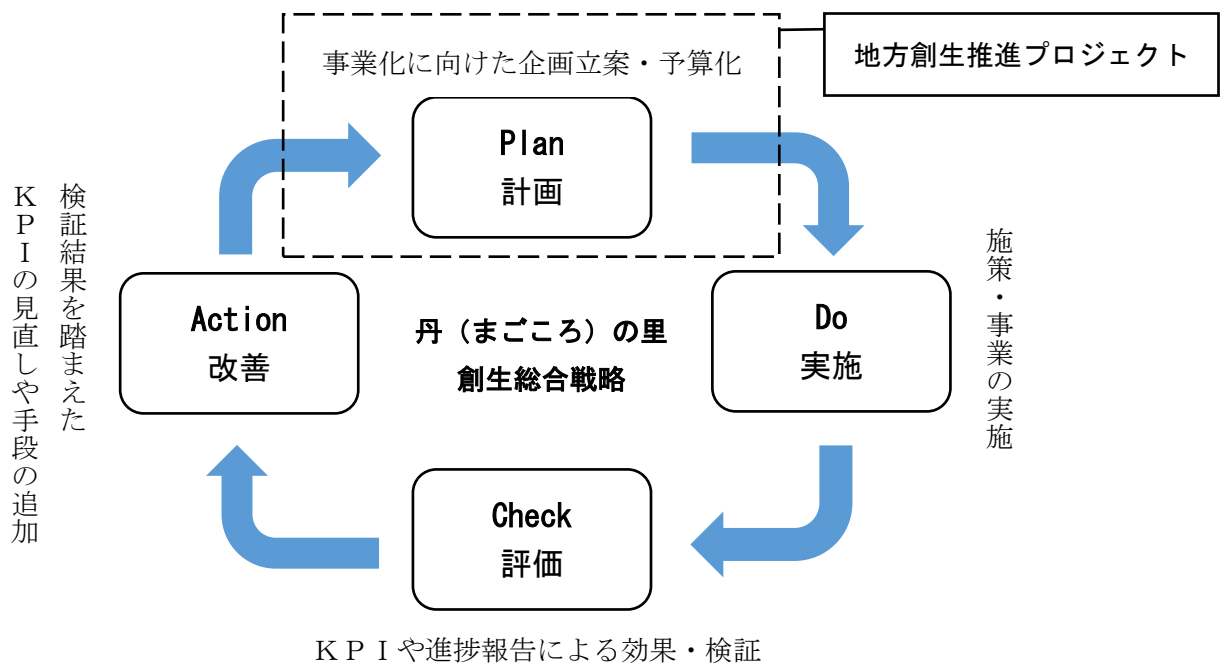
令和2年度の地方創生推進プロジェクトの進捗状況について

1 第2期丹（まごころ）の里創生総合戦略の進め方

創生総合戦略は、計画・取組・効果検証のいわゆるPDCAサイクルによって各事業を改善しながら推進していきます。効果検証の結果、必要が生じたときは、KPIの見直しや手段の追加など、創生総合戦略の改訂を行います。

創生総合戦略の実行に当たり、分野横断的な新たな取組は、地方創生推進プロジェクトを庁内に立ち上げ、事業化に向けた企画立案を行います。このプロジェクトは本部長（市長）が指名した部長のもとに、関係課長等によるメンバーでチームを構成し、連携しながら進めていきます。

図 丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略の進め方



2 令和2年度のスケジュール

令和2年7月2日（木） 第1回丹の里創生総合戦略推進本部会議

令和2年7月28日（火） 第1回丹の里創生総合戦略推進委員会

令和3年2月2日（火） 第2回丹の里創生総合戦略推進本部会議

令和3年2月10日（水） 第2回丹の里創生総合戦略推進委員会

（第1回目の役割）

令和2年度の検討状況を報告し、会議で集約した意見を令和3年度の推進プロジェクトへ反映します。

（第2回目の役割）

令和2年度の検討を受け、令和3年度に予算化する事業と、新たに推進プロジェクトとして進めていく事業についての報告・協議を行います。

3 令和2年度の地方創生推進プロジェクトの検討状況

プロジェクト1		
地域とともに出産や成長を喜ぶ仕組みや産前産後のサポートの充実		
第2期創生総合戦略	施策	施策1－1「結婚・出産・子育ての希望が叶うまちをつくる」
	指 標 (KPI)	① 市の子育て支援・環境に満足している子育て世代の割合 (H30) 49.0% → (R6) 59.0%
		② ミルネの子育て世代包括支援センター事業利用件数 (H30) 490件 → (R6) 550件
	手段	妊娠の希望を叶える支援や産前産後のサポートを充実させるとともに、地域を挙げて、新しい命の誕生をお祝いしていることを子育て世代が実感できる取組を増やす。

◆取組概要◆

妊娠・出産・子育てを地域から応援されていると実感でき、この地域で子育てしたいと感じてもらう取組について、母親・赤ちゃんとの関りが深い健康福祉部健康課を中心とした地方創生推進プロジェクトとして、庁内検討委員会を設置し、検討を行いました。

検討過程では、創生総合戦略推進本部会議にて全庁的に協議したほか、創生総合戦略推進委員会で外部有識者の視点からご意見をいただきました。また、市民アンケートを実施し、子育て世代を中心とした市民の声を反映しました。

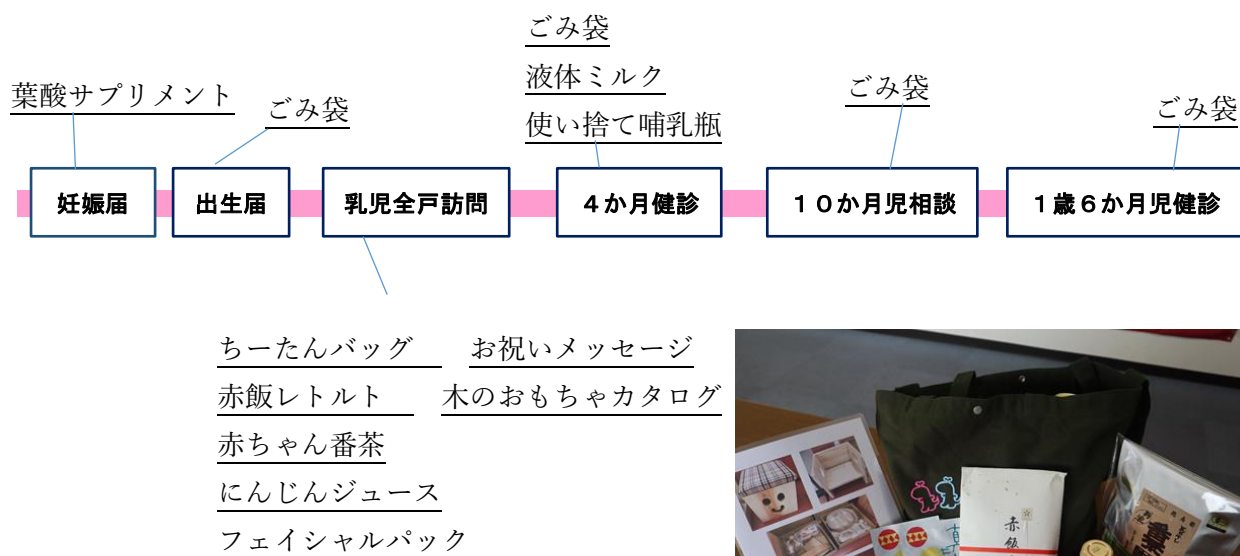
◆取組経過◆

- 7/2 (木) 創生推進本部会議
- 7/7 (火) 第1回ハッピーバースパック庁内検討委員会
- 7/13～30 市民アンケート
- 7/28 (火) 創生総合戦略推進委員会
- 11/17 (火) 第2回ハッピーバースパック庁内検討委員会

◆令和3年度の取組◆

ハッピーバース応援ギフト事業 9,503 千円

妊娠・出産・子育てを応援されていると実感でき、この地域で子育てしたいと感じてもらふ取組として、妊娠期から乳幼児期までに必要なものを「ハッピーバースパック」として贈る取組みと実施する。（令和3年4月1日以降に生まれた住民を対象）



ハッピーバースパックイメージ

妊娠確定前診察費への助成 4,000 千円（@10,000 円×400 人分）

妊娠が確定するまでの医療機関や助産所での受診の診察費は、自費による診療となっています。この費用を助成することで経済的負担軽減を図ります。

産前産後サポートの充実 1,533 千円

妊産婦が抱える悩みや不安、心身の不調に対し、専門職による相談支援の充実・支援を行い、不安の軽減・解消を図ります。

◆活用する財源◆

- ・企業版ふるさと納税
- ・丹波市ふるさと寄附金

プロジェクト2		
子育て世代のニーズに適う公園の整備に向けた公園整備方針の策定		
第2期創生総合戦略	施策	施策1－2「みんなで子育てを応援するまちをつくる」
	指標 (KPI)	① 地域全体で子育てを支えていると感じている市民の割合 (H30) 46.7% → (R6) 53.0%
		② ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じている市民の割合 (H30) 43.7% → (R6) 63.0%
	手段	子どもにとって、本市で暮らす豊かさ（自然体験・遊び、心地の良い場）が実感できる場（まちのサードプレイス）を充実させる。

◆取組概要◆

人口減少に対する子育て支援・地域活性化策として、また、観光・交流の賑わい拠点づくりとして、市内公園の充実を図るため、地方創生推進プロジェクトとして、それぞれの公園の特色を活かした整備について検討を行いました。

策定過程では、創生総合戦略推進本部・関係課長会議で内部協議を進めたほか、創生総合戦略推進委員会で外部有識者の視点から協議いただきました。市民アンケートの実施、市議会総務文教常任委員会・議員総会に報告し、各方面から意見をいただき、策定しました。

◆取組経過◆

- 7/ 2（木）創生推進本部会議
- 7/20（月）関係課長会議
- 7/28（火）創生総合戦略推進委員会
- 8/ 3～17 市民アンケート
- 9/ 3（木）経営会議
- 9/15（火）市議会総務文教
常任委員会
- 9/28（月）議員総会
- 10/13（火）関係課長会議
- 11/ 2（月）経営会議



整備を予定している公園（11箇所）

◆令和3年度の取組◆

氷上さくら公園 5,000 千円

: 展望台の改修工事

道の駅丹波おばあちゃんの里 26,632 千円

: 遊び場の工事

: ユニバーサル遊具を含めたあそび場の設計

山南中央公園 10,000 千円

: 基本計画の策定

三ツ塚児童公園

: 三ツ塚児童公園遊具修繕工事 1,814 千円

現在の公園の様子



氷上さくら公園



道の駅丹波おばあちゃんの里



山南中央公園



三ツ塚児童公園

◆活用する財源◆

・企業版ふるさと納税

プロジェクト3		
仕事と子育ての両立を応援する取組の検討（病児保育のあり方）		
第2期創生総合戦略	施策	施策2-2「多様な働き方・働きやすい職場をつくる」
	指標 (KPI)	① 病児保育のサービス拠点数 (H30) 5 拠点 → (R6) 14 拠点
		② 年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると感じている市民の割合 (H30) 21.2% → (R6) 25.0%
	手段	子育て世代が働きやすい環境をつくるため、認定こども園全園の病児保育実施と、小児科診療と連携した病児保育拠点の整備を実現する。

◆取組概要◆

ひとり親家庭、核家族が増えていくなか、仕事と子育ての両立を支援するため、病児の受入れ体制を整備します。

現在、市内の認定こども園 13 園中、病児保育(体調不良時型)は 10 園が実施していますが、インフルエンザ等に罹患した病児を受け入れる体制は整っていません。

検討経過では、他市の状況調査を行ったほか、8 月には子育て世代を中心としたアンケートを実施しました。

当初は丹波医療センター周辺での整備を検討してきましたが、場所や新たな施設整備が課題となったため、認定こども園を事業主体とし、既存の部屋を改修し整備する方向で法人と協議を進めています。

◆取組経過◆

7/ 2 (木) 創生推進本部会議

7/28 (火) 創生総合戦略推進委員会

8/ 4～24 市民アンケート

◆令和3年度の取組◆

—整備する病児保育—

対象：乳幼児から小学6年生までの児童

内容：病気等により、回復期に至らない(一定期間集団生活が困難と診断された)場合に、病児保育室において一時的に保育をする

開始予定時期：令和3年度中（法人と調整中）

定員：6名

職員配置：看護師1名、保育士2名